

インド、中央銀行新総裁決定、地方選挙の開票終わる

2019年に予定される下院選を前に、金融政策と財政政策の動向に注目

情報提供資料 2018年12月13日

12月11日に、任期途中で辞任したインド準備銀行（中央銀行、RBI）のパテル前総裁の後任にダス氏が任命されました。同11日、11月から12月初旬にかけて行われた5つの州の地方選挙の一斉開票が行われました。新総裁任命と地方選挙の結果、今後の見通しについて、ご説明します。

➤ RBI新総裁は元財務省官僚のダス氏

- 12月10日にRBIのパテル前総裁が任期の途中で辞任を発表しました。辞任は個人的な理由によるものとされています。しかし、10月下旬以降政府と中央銀行の関係悪化が表面化し、11月前半にはパテル前総裁の辞任の可能性が一時報じられたこともあり、今回の辞任は政府との関係悪化が背景にあるものと見られています。
- パテル前総裁の辞任の翌日となる11日に、後任としてシャクティカンタ・ダス氏が任命されました。パテル前総裁の突然の辞任で総裁不在となることによる影響が懸念されましたが、異例の速さで後任が決まりました。
- ダス氏は元財務次官で、61歳。任期は3年です。高額紙幣廃止の立役者の一人で、G20（主要20か国の財務相・中央銀行総裁会議）で各国との交渉を担った経験もあることから、今後のRBIと政府の調整に経験が活かされると期待されています。

➤ 地方選挙は5州のうち、注目の3州全てでBJP苦戦

- 11月から12月初旬にかけて投票が行われていた5州の地方選挙について、11日に始まった開票は、翌12日のインド時間朝に全て完了しました。地方政党の勢力が強いテランガナ州と、人口の少ないミゾラム州以外の3州の結果が注目されていました。
- ラジャスタン州では、事前の世論調査の結果などから、国民会議派の勝利が見込まれており、開票結果も同様となりました。接戦が見込まれたマディヤ・プラデーシュ州は、国民会議派の議席数が、モディ首相率いるインド人民党（BJP）の議席数を僅差で上回りました。事前にBJPの勝利が見込まれていたチャッティスガル州も、全ての州で投票が終わった後の12月7日の出口調査で国民会議派の優勢が示され、開票結果も国民会議派の勝利となりました。
- 注目の3州全てで、BJPは議席数を減らす形となりました。前週末7日の出口調査ではBJP苦戦の内容が伝わったため、開票前の12月10日時点で、インド株式市場も債券市場も調整しました。このことから、地方選挙の結果は既にある程度市場に織り込まれていたものと考えられます。11日は前日の突然のパテル前総裁の辞任発表があつたにもかかわらず、開票の途中経過が想定範囲内であったことを受けて株式市場も債券市場も上昇しました。

➤ 今後の見通し

- RBIの総裁が代わり、来年の下院選挙の動向を占う上で重要とみられた地方選挙の結果が出たことから、今後は金融政策と財政政策の両方の動向が注目されます。
- パテル前総裁はタカ派として知られていたため、タカ派色が和らぐことが見込まれます。ただし、金融政策は総裁を含む6人の委員の投票によって決定されることから、政策の方向性が大きく変化することはないものと見られます。
- 財政政策については、今回の地方選挙の結果を受けて支出が拡充される可能性も指摘されています。これまでインド経済の重石となってきた原油価格が調整する中、金融政策と財政政策がともに景気支援的となれば、回復傾向をたどる企業業績をさらに後押しすることになるものと考えられます。
- 一方、金融政策と財政政策が緩みすぎると、ルピーにとってはマイナスとなる可能性もあり、規律を持った政策運営がなされるかについては注意が必要です。

【開票結果】

州 (今回争われた 議席数)	政党	前回 2013年 政党獲得 議席数	今回 速報値* 政党獲得 議席数
マディヤ・プラデーシュ州 (230)	BJP	165	109
	国民会議派	58	114
チャッティスガル州 (90)	BJP	49	15
	国民会議派	39	68
ラジャスタン州 (199)	BJP	163	73
	国民会議派	21	99
テランガナ州 (119)	BJP	5	1
	国民会議派	21	19
	テランガナ民族会議**	63	88
ミゾラム州 (40)	BJP	0	1
	国民会議派	34	5
	ミゾ国民戦線**	5	26

*2018年12月12日時点。 **地方政党。

(注) テランガナ州は2014年にアンドラ・プラデーシュ州から分離したため、上記の前回選挙結果は2014年のもの。

(出所) Election Commission of Indiaのデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

英国ブルーデンシヤル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシヤル・ファイナンシヤル社とは関係がありません。

※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

181212 (10)